

プログラムの概要

本研究科は国際社会研究・国際文化研究・国際交流研究の3専攻で構成されています。国際社会研究専攻は海域アジア・太平洋地域と陸域ユーラシア地域における地球社会形成研究に、国際文化研究専攻は環太平洋・環大西洋地域における地球文化形成研究に、国際交流研究専攻は国際交流研究、国際貢献研究に、それぞれ重点をおいて、教育研究を行っています。本研究科は、これら3専攻の教育研究とその総合を通じて、政府・民間・非営利3部門における国際的な高度専門職業人の養成に努めています。

修了認定の基準 (ディプロマ・ポリシー)

本研究科では高度専門職人として要請される以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したことに加え、修士論文を提出し、最終試験の審査に合格した者に対して「修士(国際学)」の学位を授与します。

- (A) グローバル共生の視点に基づく国際問題の的確な分析能力・異文化理解能力
- (B) 市民レベルの実践的国際交流・貢献能力
- (C) 調査分析能力と問題解決能力、企画・提言能力
- (D) コミュニケーション能力
- (E) 情報処理能力

履修条件 (アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

- (1) 国際的な視野で豊かな地球社会の形成・地球文化の形成について深く学び、そのために寄与したいと思っている人
- (2) 国際社会における国家、地域、個人の在り方について真摯に考えたいと思っている人
- (3) 多文化の共生をめざして、ビジョンやアイデアを積極的に発信していきたいと思っている人
- (4) 日本から発信する市民レベルおよび草の根的な国際交流・国際貢献活動に積極的に参加する希望を持っている人
- (5) 国際化する問題の解決を説得的に表現し実践していく適性と基礎学力およびコミュニケーション能力を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 問題意識や研究課題の独自性・明確性を評価します。
- (2) 専門分野に必要な外国語能力を評価します。
- (3) 研究計画の遂行に必要な総合的理解力を評価します。

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針 (カリキュラム・ポリシー)

国際社会研究専攻はローカル(地域的)に生起する民族紛争、政治的対立、環境悪化等の諸問題を理論的、実証的に明らかにするために、海域アジア・太平洋と陸域ユーラシアという二つの連鎖的交流空間における経済、政治、社会システムの構造と機能に着目するとともに、それらの比較とグローバルな総合(地球社会形成)という視点を加味した教育課程を編成しています。

国際文化研究専攻はローカル(地域的)に生起する異文化間の摩擦や交流、言語問題、宗教的対立等の諸問題を理論的、実証的に明らかにするために、環太平洋と環大西洋という二つの連鎖的交流空間における文化システムの構造と機能に着目するとともに、それらの比較とグローバルな総合(地球文化形成)という視点を加味した教育課程を編成しています。

国際交流研究専攻はローカルな現象や問題を理論的、実証的に明らかにし、グローバルな国際関係との関わりで学際的、総合的に教育研究するととどまらず、広く市民レベルの国際交流・国際貢献活動に寄与することをめざして、国際学臨地研究を含む実践的な教育課程を編成しています。

国際学研究科博士前期課程 カリキュラムツリー

